

早いもので、今日から3月です。1年の締めくくりの月です。2学期に実施できなかった「見て見ての授業」を3学期に公開していただきました。「見て見て」の授業は、ブロックや学年で授業を互いに見合うことで、授業を磨き合うことを目的としています。授業公開の日の放課後に事後研で話題になったこと等をみんなのものにし、研究を広げたいと思いこの通信を書いています。すぐに書きあげ配布する予定だったのですが、遅くなってしまいました。申し訳ありません。



④自分でカードに書いた後、《よく読んでいるところや参考にしたいところ》をペアで交流しています。



⑤全体交流の後、家庭学習でやってくることをお知らせして授業の終

見て見ての授業より

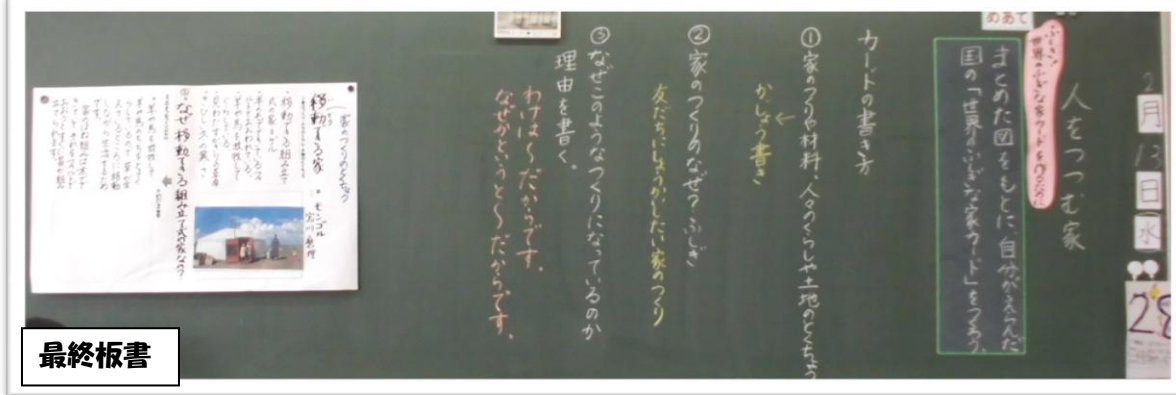
2月13日(水) 2校時 国語科 3年 宮川 磨理 教諭
単元名「人をつつむ形-世界の家めぐり」
本時の目標：チュニジアやセネガルの家のつくりや理由について、文章や写真、挿絵などから読み取ったことを筆者の説明の観点に沿って「世界の不思議な家カード」に整理して書くことができる。



事後研より

- ・前時の学習が分かる掲示が有効であった。
- ・ノートに書いたものをもう1度書くことになっていないか？ワークシートの内容や量も精選するとよい。
- ・この単元で付けたい力は、「文章や絵から読み取ったことを基に考える力」なので、ノートではなく、教科書の文章や絵から考えさせたかった。
- ・カードに書いて交流するという、本日の授業の1番大事なところの時、確認だけにして思考・表現する時間をもっと大事にしたい。

学習の流れ



最終板書

授業の主な流れ

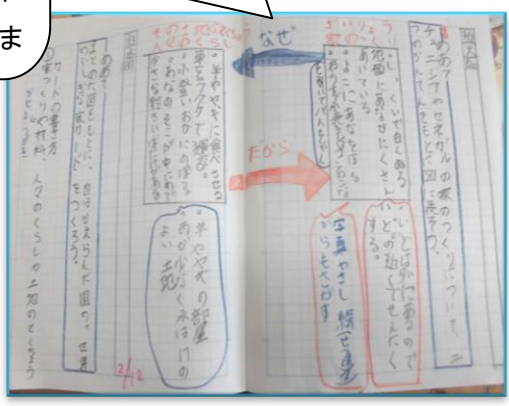


①授業の始めに、教材文の自分がカードに書く国：「セネガル」と「チュニジア」に分かれて音読しています。

③前時にまとめたノート：このノートの図を参考にしてカードを書きます。



②めあての後、カードの書き方の説明があり、ノートに写し、確認しています。



授業者のリフレクションより

- 資** 本文の中から読み取ったことを整理することはできているが、写真や絵などからの読み取りが不十分であった。一度全員で同じ国でカードを作成してから本時の活動の活動に入るべきだった。(そうすれば説明の時間も省略される。)
- 主対深** 全体共有の後、もう一度自分の文章に戻って見直し、修正をかけさせるべきだった。
- 言** ペアでの話し合いの後の全体共有の時、どこからそう考えたのか教科書に戻って根拠を示させるべきだった。
- 感** 教材研究をしっかり行い、授業のゴールから遡って計画を立てタイムマネジメントをしていくことや子ども達に分かりやすく伝えることを心がける。

全校研、見て見てⅠの授業は算数科でしたので、今回3年生の国語科の授業を初めて参観させていただきました。3年生は1クラスなので、教材研究や準備等お一人でされています。人数も多く、やんちゃ盛りの子も達をまとめていく労力は想像以上だと思います。多くの仲間と共に成長した3年生の姿を見せていただくことができました。宮川先生、授業公開ありがとうございました。

～本時後の実践より～
「世界の不思議な家カード」を作成して、交流しています。交流の際には、付箋に感想や意見を書いていました。

暑い夏は太陽を避ける方向に向けることができず暑いと思いました。
わたしと同じ家を選んでいただけ、わたしが見つけていないひみつまで見つけていてすごいと思いました。